

かきくけ航海日誌

滋賀県立びわ湖フローティングスクール
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号
<http://www.uminoko.jp/>



平成二十七年
度終航式

「みずうみに学んで 世界の明日をみる」 「かきくけ航海」を生み出そう！

合言葉 か・・・考える き・・・気づく く・・・工夫する
け・・・継続する こ・・・行動する

「全94航海が終了しました」



【所長 新庄 正幸】

2月23日の第94回航海（大津市立中央小学校・滋賀大学教育学部附属小学校・滋賀朝鮮初級学校）で、今年度の終航式を行わせていただきました。事故なくこの日を迎えられましたことに感無量です。

びわ湖環境学習分野2（生命を育むびわ湖の水）では、全航海でプランクトンウォッチングを、ほとんどの学校で「湖の子」水調べを実施されました。プランクトンウォッチングの学習で、昨年度から取り入れましたびわ湖の水を

フィルターでろ過することによって、水のごりの主な原因がプランクトンであることを視覚に訴えて説明される航海が数多くありました。さらに、「湖の子」水調べとつながりを持たせたり、pH簡易水質検査キットで、琵琶湖の水や下水についての水質に興味をもたせたりされた学校もありました。

さらに今年度は、ニゴロブナ放流体験を中心に置き、個体数が減ってきた原因を探らせようとした航海がありました。ブルーギルなど外来生物が固有種を食べる被害のことや琵琶湖全体の透明度が上昇する一方で、湖底に光が届き水草が大量発生し、飲み水や漁業に影響を及ぼしていることにも目を向けさせられました。琵琶湖の課題が複雑化する中で、新「うみのこ」での学習プログラムも模索していかなければなりません。

何といいたって、「うみのこ」が安全に航行されてこそそのびわ湖環境学習であり、体験活動であります。改めて、関係の皆様には、安全航海にご尽力いただきましたことに感謝申し上げます。

「うみのこ」は、まもなくドック入りし、エンジンの法定点検をはじめ、諸機関の作動状況等さまざまな検査・確認が行われます。来年度の航海に向けて万全を期します。

かきくけコーナー

子どもの声に随分元気と勇気を頂戴した1年間でした。ここに、一部を紹介します。

- びわ湖の問題には気づいていたが、新たに問題や環境に気づかせてくれた「うみのこ」学習だった。
- びわ湖や滋賀県の知っているようで知らないことが学べた。何事も挑戦してみようと思う心が持てた。
- 人と仲よくするという事は一つの幸せが生まれることに気づき、まさに希望の、いや幸せを運ぶ船だ。
- OFSを終えて「これからもしてみよう」と思ったのがいっぱい増えたことに気づいた。
- OFSで学んだことを生かした大人のように、10年後もぼくたちも学んだことを生かしていきたい。
- 本当に「まほうの船」のように1日目でも仲よくなった。自分を変えられる船だった。
- 滋賀県がびわ湖をあずかっている。「ほんとうにそやなあ〜。」滋賀県に生まれてきてよかった。
- 滋賀県民として滋賀県のほこりとして、ずっとびわ湖の成長をみていたい。